

国民健康保険事業実施状況 (平成22年度)

(資料：町民福祉課)

資格区分	保険者数 (人)	加入率 (%)	被保険者1人当たり(年度)			
			現年度収納分	国県等支出金	受診率/年	療養諸費
一般被保険者	2,347	43.7	61,742円	147,324円	5.94	219,106円
退職被保険者	59	1.1	73,559円	178,423円	7.31	176,298円
全体	2,406	44.8	62,522円	148,087円	5.98	218,056円

後期高齢者医療実施状況 (平成22年度)

資格者数 (人)	加入率 (%)	総医療費 (千円)	被保険者一人当たり	
			受診率/年	療養諸費(円)
1,040	19.11	991,036	12.6	952,920

国民年金加入状況 (平成23年3月31日現在)

被保険者(人)			保険料免除者(人)		
第1号	任意	第3号	法定免除	申請免除	計
1,194	22	319	108	345	453

国民年金保険料 (平成23年3月31日現在)

22年度収入額収納額 90,992千円				
年度別の収納率(%)				
18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
59.8	58.7	58.7	54.2	54.9

年金受給権者給付状況 (平成22年度) (単位：人, 円)

(資料：町民福祉課)

総計		総計の内訳							
		老齢給付		障害給付		遺族年金		老齢福祉年金	
受給権者数	年金額	受給権者数	年金額	受給権者数	年金額	受給権者数	年金額	受給権者数	年金額
1,735	989,944,800	1,570	849,304,000	157	135,706,000	7	4,529,000	1	405,800

保育所 (平成23年4月1日現在)

(資料：町民福祉課)

名称	設置年月日	保育士 (人)	措置児童数(人)		
			男	女	計
与論こども園	昭和48年4月1日	7	19	17	36
茶花こども園	昭和54年5月1日	7	20	20	40
那間こども園	昭和61年4月1日	5	19	13	32
ハレルヤこども園(私立)	昭和55年3月31日	12	34	34	68
総計		31	92	84	176

老人の現況 (平成23年4月1日現在)

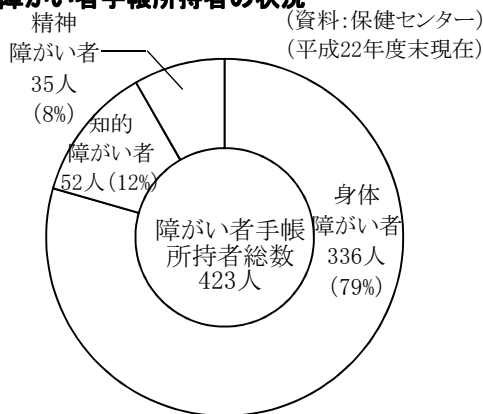
(資料：町民福祉課)

65歳以上 一人暮らし 老人	65歳以上ねたきり老人		老人クラブ	
	人数 (介護認定4・5)	クラブ数	クラブ数	会員数 (60歳以上)
321人	104人	9		478人

こども園児童数は保育部と幼稚園部の合計である

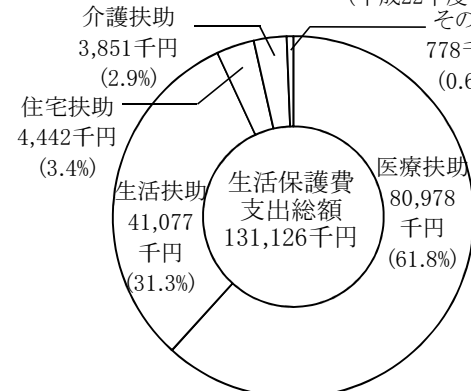
障がい者手帳所持者の状況

(資料：保健センター)
(平成22年度末現在)



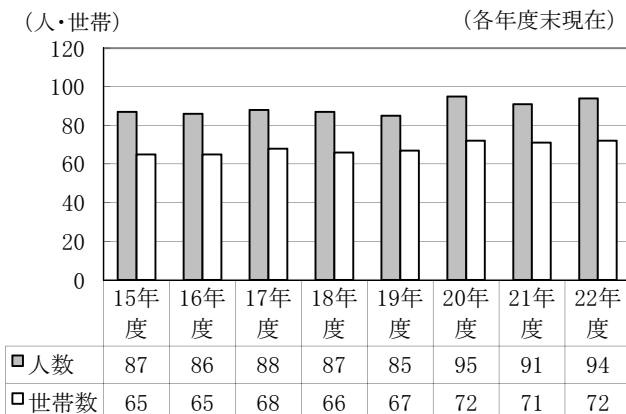
生活保護費の支出状況

(資料：福祉事務所)
(平成22年度各月累計)



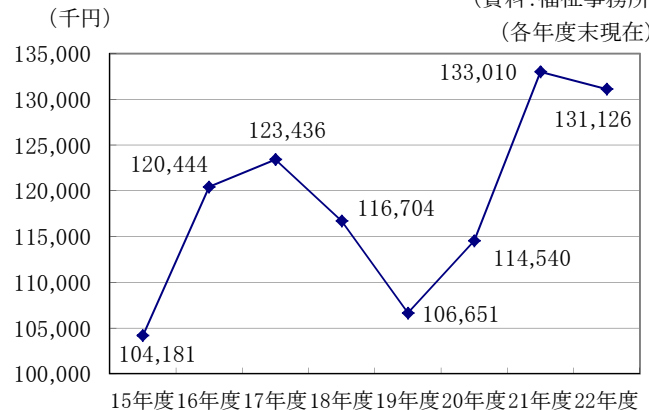
生活保護の推移

(資料：福祉事務所)
(各年度末現在)



生活保護費の推移

(資料：福祉事務所)
(各年度末現在)



教育

(資料：教育委員会)



小学校

学 校 名	教職員	学級数	児童数		
			男	女	計
与論小学校	14	7(1)	47	50(2)	97(2)
茶花小学校	16	8(2)	70	68(3)	138(3)
那間小学校	13	6	38	46	84
合 計	43	21(3)	155	164(5)	319(5)

※ () は特別支援学級の内数

中学校

学 校 名	教職員	学級数	生徒数		
			男	女	計
与論中学校	22	8(2)	96(2)	78	174(2)

※ () は特別支援学級の内数

中学校卒業者の進路状況

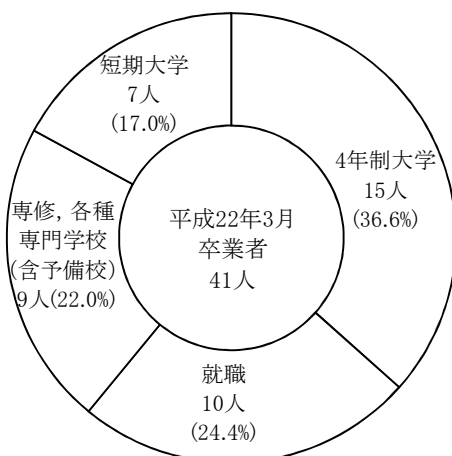
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
卒業者(人)	70	72	51	70	61	57
進学者(人)	70	72	51	69	61	57
進学率(%)	100.0	100.0	100.0	98.6	100.0	100.0

鹿児島県立与論高等学校 (平成23年4月7日現在)

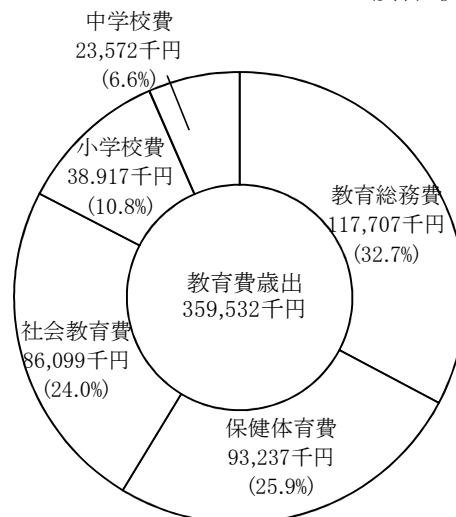
(資料：与論高等学校)

学 年	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
1 年	2	67	2	72	2	46	2	63	2	53	2	53
2 年	2	75	2	67	2	73	2	43	2	58	2	50
3 年	2	76	2	74	2	67	2	71	2	41	2	58
計	6	218	6	213	6	186	6	177	6	152	6	161
教職員	26		26		28		28		29		29	

高校卒業者の進路状況 (資料：与論高等学校)



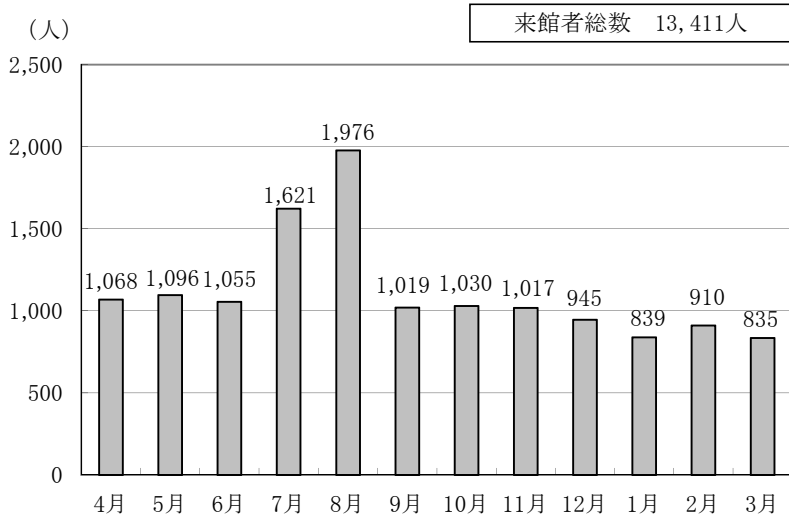
教育予算 (平成23年度当初予算) (資料：教育委員会)



社会・文化

町立図書館の来館者数（平成22年度）

（資料：町立図書館）



県内住民1人当りの貸出率ベスト10
（平成22年度）

（資料：県図書館統計）

順位	市町村名	貸出冊数
1	湧水町	11.41冊
2	喜界町	9.30冊
3	徳之島町	8.00冊
4	知名町	6.66冊
5	与論町	6.58冊
6	和泊町	6.42冊
7	南九州市	5.87冊
8	志布志市	5.64冊
9	出水市	5.31冊
10	始良市	4.90冊

町立図書館の現況

昭和59年3月完成、同年5月開館

開館時間：午前10時～午後6時30分

定休日：月曜日

職員数：5名（臨時職員含む）

構造	敷地面積	建築面積	述べ床面積	総事業費
鉄筋コンクリート造り3階建	1,432㎡	571㎡	1,200㎡	208,341千円

各室の面積（事務室を除く）

一般閲覧室	児童閲覧室	1階書庫	学習室	研究室	視聴覚室	所蔵能力
221㎡	126㎡	72㎡	48㎡	18㎡	114㎡	約5万冊



移動図書館車「くじら号」



中央公民館でのエイサー教室

中央公民館の現況

大ホール(舞台含む)	料理室	2階集会室	パソコン室	印刷室	研修室	和室
266㎡	81㎡	162㎡	93㎡	25㎡	177㎡	96㎡

機器室	事務室ほか
20㎡	210㎡

公民館教室（平成23年度）

（資料：中央公民館）

書道	クラシックギター	ハーモニカ	琉球舞踊	茶道
ペン字・硬筆	三味線(初級・中級)	奄美歌謡	和太鼓	エイサー
絵画(同好会)	大正琴	バレエストレッチ	かな書道	ゆんぬ染織
生花教室	社交ダンス	四つ切書道		

指定文化財

名 称	種 別	所在地	指定年月日	所有者	備 考
与論十五夜踊	国指定重要無形民俗文化財	城	平成5年12月13日	与論十五夜踊り 保 存 会	永禄4年(1561年)に創作され、それ以後踊りつがれています。
	県指定無形民俗文化財		昭和46年5月31日		
屋川（ヤゴ）	町指定史跡名勝天然記念物	城	昭和51年2月20日	和泉松應	洞くつ井戸
城 跡	〃	城	昭和51年2月20日	神社法人	
アマンジョー	〃	東区	昭和51年2月20日	与論町	
大道那太遺物	町指定有形文化財	朝戸	昭和51年2月20日	大田栄一	弓術に優れた豪傑で、城跡下に墓があります。
	母屋、高倉、舟おき石、力石、着物入ヒツ、刀箱、手水バチ				

神 社

名 称	所在地	管理者	内 容
地主神社	城 (与論城跡)	神社法人	「島の守護神」と「城の守り神」を合祀して建立されました。毎年旧暦の3、8、10月の15日に豊年祈願祭典を挙行し、十五夜踊りを奉納します。
高千穂神社	朝 戸	神社法人	明治2年、大島諸島とともに足戸村、高尾半田に本郡13社の内の1社、高千穂神社を建立。祭神は「高天原より日向国に天降り給う」中津国の主となった神です。この神社は明治維新により、民心を改め、旧来の風習を打破、神道に帰しかつ島中安穩、五穀豊穰、人畜繁栄のために建立されたものです。
琴平神社	城 (与論城跡)	神社法人	文政7年(1824年)代官鎌田新之のはからいにて樋口石垣上に小祀を建立。金比羅大権現をまつり、天保6年(1835年)現地に移転されました。明治4年琴平神社と改名、明治42年(1909年)菅原神社を合祀して、金比羅大権現、菅原道真公、市杵島姫之命を合祀しています。
按司根津栄神社	朝 戸	市来盛廣	明治41年按司根津栄とその兄弟の三柱の神を合祀して建立、旧暦の3、6、10月の15日に祭が行われます。根津栄は無頼に英傑で、特に弓術に優れ、琉球軍と戦い勇壮な死をとげたとされています。遺跡として、神社のそばの弓場に足跡、矢立の穴や馬のひづめの跡、戦死した地のソテツなどがあります。

郷土芸能・祭典・行事

月 日	新・旧歴	行事名	内 容
1月1日	新・旧	正 月	若水を汲み、新年を祝い、正月願（海難水難事故者、変死者の粗霊祭）が行われます。
1月2日	新・旧	へークヨイ	大工の道具祝い。
1月5日 ～7日	旧	ハミゴ遊び	一重一瓶で酒宴したり、若い男女は晴着を着て太鼓、三味線で唄・踊りを楽しみ、学童はくい打ち、凧揚げなど競います。昔は十五夜踊りと並んで島民の最高の楽しみでした。現在は一部集落を中心に伝承されています。
1月7日	新	七日節句	ジュー（お産のときに使用するイロリ）の前につるしておいた豚肉、魚、大根等を入れ、ミシジマイ（炊き込みごはん）をつくり、祖先に供え、互いにパラジ（親類）配って食べます。
1月15日	新・旧	チキナー	この日は、ムジ（田芋）とサツマイモを練り合わせたご飯を作り、神棚に供え、昼食に食べます。
1月23日	旧	二十三夜待	月待（月神信仰）。主として城、朝戸地区で行われました。
3月3日	旧	浜下り	アンガー（新生児）の浜下り。男子はティル（竹細工のビク）・女子はソイガマ（小さなザル）を持ち、ヨモギ餅や弁当を作って海に行き、アンガーの成長を祝います。
3月15日	旧	豊年祭 (十五夜踊り)	年3回地主神社（与論城跡）境内で行われます。龍神に雨乞いをし、五穀豊穰、人畜の繁栄を祈願します。この祭りで奉納される与論十五夜踊りは、大和風（1番組）・琉球風（2番組）の踊りで構成され、前者の勇壮と後者の優雅が対照的になっています。
3月27日 3月29日	旧	ナヌカミシャー クヌカミシャー	埋葬されてから3年～5年目の遺体を掘り出して改葬し、祖先の霊を祝います。
5月5日	旧	五月節句	端午の節句。新生児には吸物を準備し、近親者が集い祝います。

月 日	新・旧歴	行事名	内 容
7月13日 ～15日	旧	イヤープジ	祖先祭、33年忌に満たない霊に対しては一人ひとりにご飯、お汁、その他のご馳走を三度供えます。33年忌の終わった祖先に対しては洗い米（水で洗った米）を供えます。本土のお盆に相当します。
7月16日	旧	シバサシ	家の四つ門にシバ（茅）をさし、魔よけをします。
7月16日 ～19日	旧	シニグ祭 (隔 年)	氏族または血縁の者が寄り集まって、豊年と氏族の幸運を祈願する祭りです。
8月8日	新・旧	88のお祝い	88歳の年を祝います。
8月15日	旧	豊年祭 (十五夜踊り)	3月15日と同様です。踊りがすむと、獅子舞があり、そのあと綱引きがあります。各家庭ではトゥンガ（にぎり団子）を作り、祖先とお月さまに供え、学童はお月さまに供えたトゥンガを取ってまわります。
8月23日	新・旧	八月願	大工・鍛冶屋・ヤブ（占師）・役人等のように、農業、漁業以外の職業に従事した人々の慰霊祭です。
8月27日 8月29日	旧	ナヌカミシャー クヌカミシャー	3月と同様にこの日改葬が行われます。
10月15日	旧	豊年祭 (十五夜踊り)	3月・8月と同様ですが、神社境内で相撲大会が行われます。
12月下旬	新	シーブ	年の暮れ29日までに親類、近隣、知人などに贈り物をします。かつては思い慕う男女の間では、女から染花のテサジ（手拭）、男からはカンザシ等が贈られました。
12月31日	新	大晦日 (トシヌル)	夕方に墓参りをし、浜から持ち帰った白砂を家の庭にまきます。



与論十五夜踊り（一番組）

一番組の踊り言葉は室町時代の狂言等から取材し、その踊り方は本土風のものとなっている。



与論十五夜踊り（二番組）

二番組の踊り言葉は与論島をはじめ奄美諸島や沖縄のものから取材し、その踊り方は沖縄風の舞踊を取り入れている。



シニグ祭

豊年や氏族の幸運を祈願する「シニグ祭」が行われるようになったのは、与論島に稲作が始められた古代に属するとみられている。現在は隔年で祭事が行われており、旧暦7月17日が本祭となる。



シニグ祭

少年たちは手にデエク（和名：ダンチク）を持ち、祭りの構成員の家々を周り、「ウウベエ ハアベエ」と唱えながら屋内を左回りに3回祓い回る「屋内祓（ヤアウチバライ）」を行う。

沖永良部与論地区広域事務組合与論分遣所（平成23年4月1日現在）

所在地	建物	業務開始日
与論町茶花1190	鉄筋2階建塔屋2階487.065㎡	昭和58年10月1日

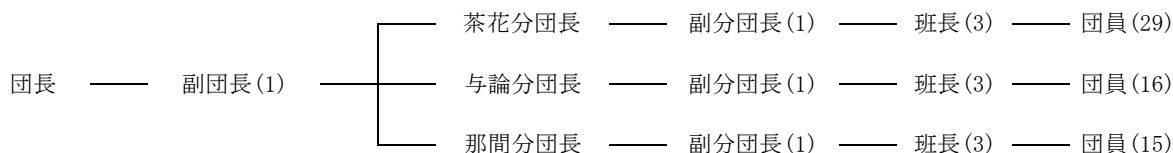
所長	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	消防車	救急車	指令車
1人	4人	3人	0人	4人	1台	2台	1台

与論町消防団（平成23年11月1日現在）

（資料：総務企画課）

条例定数：72名

実員：68名（うち女性消防団員5名）



※（ ）は実員

消防施設及び設備（平成23年11月1日現在）

防火水槽	消火栓	消防車	可搬ポンプ
7 6基	6 7基	6 台	2 台

火災・救急状況



平成16年度事業で購入した10トン水槽車

火災（平成23年9月末現在）

種別 年	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	計
18						2	2
19	1		1			1	3
20	1		1			1	3
21						1	1
22	1					2	3
23	2	1					3

救急出動件数及び搬送人員（平成23年9月末現在）

（資料：消防署与論分遣所）

年 区分	事故種別	火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	計
		災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の	
平成18年	救急出動			1	10	1	2	23	2	2	90	30	147
	搬送人員			1	10	1	2	21	2	2	87	26(24)	134
平成19年	救急出動			1	9		3	17	1	2	114	29(24)	160
	搬送人員			1	9		3	16	1	1	102	28(23)	154
平成20年	救急出動				18		6	14	2	3	95	15(15)	162
	搬送人員				20		6	12	2	0	90	15(15)	148
平成21年	救急出動				7	1	1	23	1		69	21(19)	159
	搬送人員				7	1	1	23	2		66	21(19)	151
平成22年	救急出動				5		1	20		4	103	25(16)	158
	搬送人員				5		1	20		4	93	23(16)	146
平成23年	救急出動			2	4		1	22	1	2	72	21(18)	125
	搬送人員			2	4		1	22		1	72	17(17)	119

※（ ）は島外への搬送人員

交通・運輸

空港の現況

名称	所在地	敷地面積	着陸帯		供用年月日	管理者
			長さ	幅		
与論空港	与論町立長	23.4ha	1,320m	120m	昭和51年5月1日	鹿児島県

利用状況（平成22年度）

（資料：空港管理事務所）

事業所	便	機種	搭乗可能人員(人)	路線	距離(km)	時間(分)	便数/日	平均利用率
琉球エアコミューター(RAC)	定期	DHC-8 Q300	39 50	那覇-与論	110	35	1(4)	56.6%
日本エアコミューター(JAC)	〃	Q400	74	鹿児島-与論	576	75	1	42.7%
〃	〃	SAAB 340B	36	※奄美-与論 沖永良部-与論	203 55	40 25	1 1	39.4% 36.8%

※SAAB機は沖永良部経由で奄美大島まで運航
便数の（ ）は最盛期の便数

港湾の現況

（資料：建設課）

	漁船溜	接岸能力	本港	接岸能力
供利地区	防波堤(4ヶ所) 240m 物揚場 110m(-2.0m) 船揚場 15m	10 t 未満	岸壁 190m(-9.0m) 臨港道路 644m(幅6.5m) 128m(幅5.0m)	10,000 t
茶花地区	防波堤(2ヶ所) 60m 物揚場 50m(-2.0m) 船揚場 30m	10 t 未満	岸壁 190m(-9.0m)、90m(-5.5m) 防波堤 450m 臨港道路 175m(幅5m)、1,360m(幅5m) 1,114m(幅6.5m) 離岸堤 188.7m(2基)	3,000t~ 10,000t

船舶就航状況

航路区間	事業所	運航船舶	総トン数
鹿児島～名瀬～亀徳～和泊～与論～本部～那覇	マリックスライン	クイーンコーラル8	4,945 t
〃	〃	クイーンコーラルプラス	5,910 t
〃	マルエーフェリー株式会社	フェリーなみのうえ	6,586 t
〃	〃	フェリーあけぼの	8,083 t
神戸～大阪～宮崎～名瀬～亀徳～和泊～与論～那覇	〃	琉球エクスプレス	6,266 t

道路の状況（平成23年4月1日現在）

（単位：m，%）

（資料：建設課）

県道				町道			農道		
実延長	舗装済	舗装率	永久橋	実延長	舗装済	舗装率	実延長	舗装済	舗装率
13,190	13,190	100	2	132,919	118,376	89.06	10,599	3,056	28.83

交通事故死傷者の状況（与論幹部派出所管内）（平成23年9月末現在）

（資料：与論幹部派出所）

	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年
発生件数	10	13	28	12	11	7	10	8	7	7
死者	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0
傷者	10	14	30	11	11	7	16	8	6	7

宿泊施設 (平成23年4月1日現在)

(資料：商工観光課)

ホテル	旅館・民宿・ペンション	ビジネスホテル	総 収 容 人 員
5	17	1	一般客 1,348人、団体客 1,675人

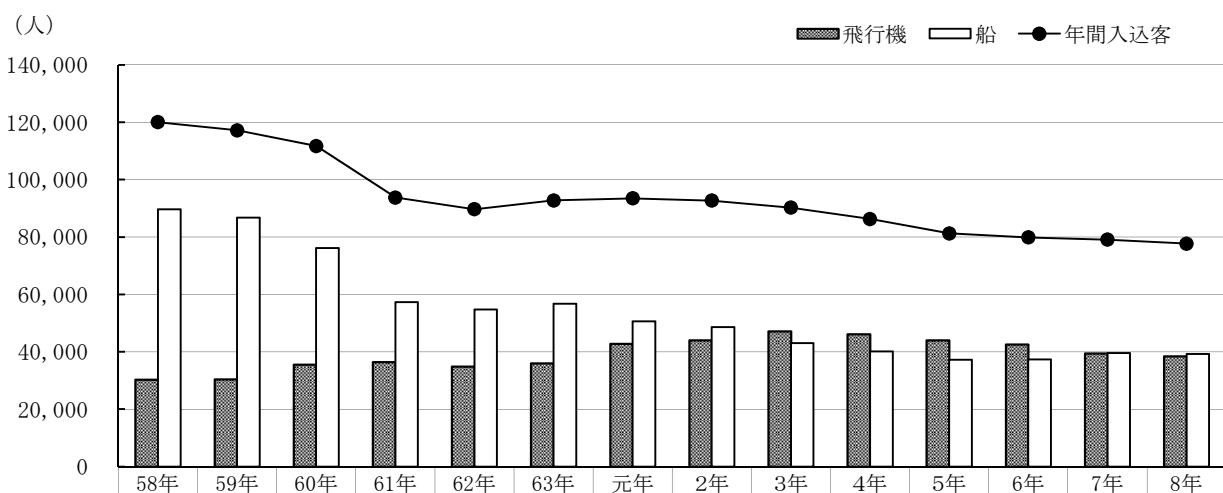
島めぐり

(資料：商工観光課)

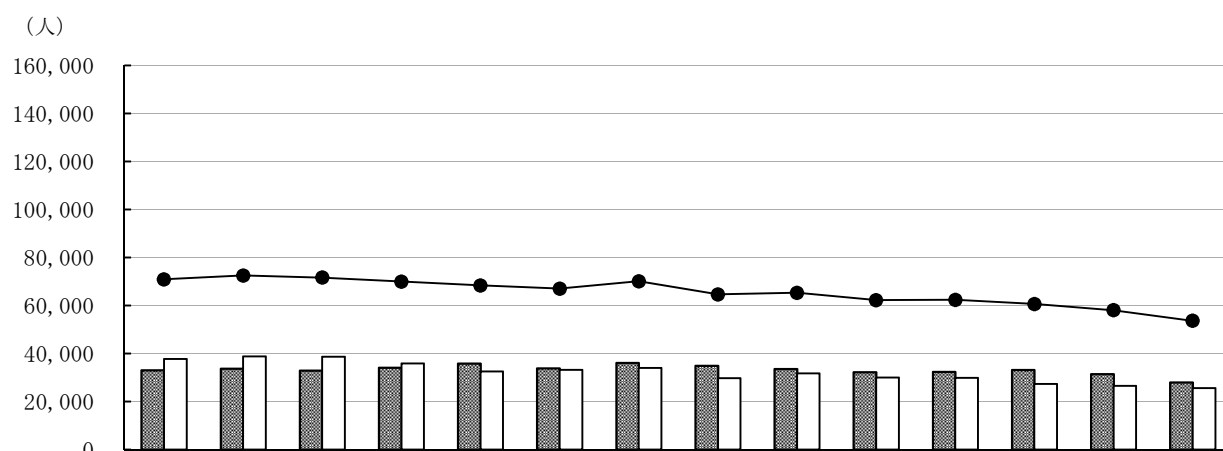
バ ス	島内1周県道沿いのバスが北回り、南回りそれぞれ約1時間おきに運行。 (自由乗降可・金額200円)
タ ク シ ー	島内で2業者、8台が運行し、貸切による島内観光もできます。 (タクシー所有台数:南陸運5台、大洋タクシー3台)
レ ン タ ル	自転車、オートバイ、自動車など業者が多く、どこでも利用できます。
そ の 他	グラスボート、ウインドサーフィン、スキューバダイビングなど、マリンスポーツが気軽に楽しめます。

旅行客入込数の推移

(資料：商工観光課)



	58年	59年	60年	61年	62年	63年	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
飛行機	30,349	30,470	35,574	36,486	34,879	35,966	42,847	44,061	47,176	46,166	44,082	42,549	39,502	38,442
船	89,700	86,743	76,176	57,261	54,804	56,778	50,674	48,654	43,054	40,123	37,197	37,334	39,606	39,246
年間入込客	120,049	117,213	111,750	93,747	89,683	92,744	93,521	92,715	90,230	86,289	81,279	79,883	79,108	77,688



	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年
飛行機	33,091	33,689	32,973	34,104	35,906	33,832	36,165	34,887	33,581	32,250	32,468	33,276	31,434	27,980
船	37,811	38,827	38,695	35,912	32,507	33,187	33,967	29,737	31,749	29,994	29,930	27,385	26,614	25,648
年間入込客	70,902	72,516	71,668	70,016	68,413	67,019	70,132	64,624	65,330	62,244	62,398	60,661	58,048	53,628

ヨロソマラソン結果 (第1回大会～)

(資料：商工観光課)

※ハーフマラソン及びリレーマラソンは第7回大会から

	第1回大会	第2回大会	第3回大会	第4回大会	第5回大会
開催日	'92 平成4年2月9日(日)	'93 平成5年2月14日(日)	'94 平成6年2月12日(土)	'95 平成7年2月12日(日)	'96 平成8年2月11日(日)
出走者	1,317人	878人	1,099人	1,173人	1,255人
完走者	1,288人 (男999人・女286人・車イス3人)	856人 (男651人・女205人)	1,086人 (男760人・女326人・車イス1人)	1,161人 (男801人・女360人)	1,247人 (男847人・女400人)
完走率	97.8%	97.5%	98.8%	98.9%	99.4%
男子総合優勝 (フルマラソン)	村上 義勝 (熊本県 42歳) 2:40:02	長谷川 和正 (兵庫県 36歳) 2:35:08	高橋 良 (神奈川県 30歳) 2:40:40	葛野 悟 (神奈川県 22歳) 2:32:41	井上 和男 (愛知県 26歳) 2:38:01
女子総合優勝 (フルマラソン)	原 由里子 (福岡県 26歳) 3:15:55	金塚 順子 (東京都 40歳) 3:27:15	永田 はるよ (鹿児島県 31歳) 3:14:41	平野 千春 (大阪府 20歳) 3:06:09	川 照美 (鹿児島県 32歳) 3:01:39

	第6回大会	第7回大会	第8回大会	第9回大会	第10回大会
開催日	'97 平成9年2月9日(日)	'98 平成10年3月1日(日)	'99 平成11年3月7日(日)	'00 平成12年3月5日(日)	'01 平成13年3月11日(日)
出走者	823人	1,067人	941人	962人	1,265人
完走者	789人 (男557人・女232人)	1,054人 (男731人・女323人)	930人 (男648人・女282人)	959人 (男659人・女300人)	1,220人 (男839人・女381人)
完走率	95.9%	98.8%	98.8%	99.5%	96.4%
男子総合優勝 (フルマラソン)	末松 隆二 (沖縄県 26歳) 2:41:34	小野寺 憲一 (宮城県 30歳) 2:43:57	野本 哲晃 (大阪府 23歳) 2:43:23	野本 哲晃 (大阪府 24歳) 2:42:37	野本 哲晃 (大阪府 25歳) 2:33:28
男子総合優勝 (ハーフマラソン)		今津 淳一 (福岡県 28歳) 1:12:28	根本 渉 (千葉県 27歳) 1:14:57	伊藤 幸一 (東京都 25歳) 1:19:50	堀木 暢人 (鹿児島県 28歳) 1:14:44
女子総合優勝 (フルマラソン)	熊谷 隆子 (東京都 24歳) 3:06:18	今江 七夕美 (滋賀県 32歳) 3:30:07	川 照美 (鹿児島県 35歳) 3:14:15	今江 七夕美 (滋賀県 34歳) 3:31:19	野本 泰子 (兵庫県 35歳) 3:17:18
女子総合優勝 (ハーフマラソン)		田代 多恵子 (福岡県 50歳) 1:47:42	大谷 直 (神奈川県 27人) 1:26:33	吉川 君子 (奈良県 58歳) 1:53:15	青山 典子 (千葉県 35歳) 1:37:13
リレーマラソン優勝		沖縄愛楽園 (沖縄県) 2:31:53	FRP (神奈川県) 2:30:12	Five Spirits (鹿児島県) 3:06:17	和泊中学校 (鹿児島県) 2:46:15

	第11回大会	第12回大会	第13回大会	第14回大会	第15回大会
開催日	'02 平成14年3月10日(日)	'03 平成15年3月9日(日)	'04 平成16年3月7日(日)	'05 平成17年3月6日(日)	'06 平成18年3月5日(日)
出走者	1,060人	1,070人	1,106人	1,026人	1,039人
完走者	1,048人 (男719人・女329人)	1,037人 (男694人・女343人)	1,073人 (男676人・女397人)	980人 (男598人・女382人)	1,004人 (男643人・女361人)
完走率	98.8%	97.1%	97.0%	95.5%	96.6%
男子総合優勝 (フルマラソン)	山根 文雄 (神奈川県 34歳) 2:31:26	野本 哲晃 (大阪府 27歳) 2:29:20	野本 哲晃 (福岡県 28歳) 2:29:53	中木原 毅尚 (鹿児島県 23歳) 2:34:32	中木原 毅尚 (鹿児島県 24歳) 2:33:17
男子総合優勝 (ハーフマラソン)	武田 国拓 (鹿児島県 18歳) 1:11:22	狭川 典靖 (鹿児島県 26歳) 1:14:37	幸福 恵吾 (鹿児島県 25歳) 1:16:33	森本 幸司 (熊本県 24歳) 1:13:55	森本 幸司 (熊本県 25歳) 1:15:25
女子総合優勝 (フルマラソン)	松本 明子 (熊本県 48歳) 3:08:04	今江 七夕美 (滋賀県 37歳) 3:15:47	道場 守里 (神奈川県 34歳) 3:25:30	道場 守里 (神奈川県 35歳) 3:36:49	安田 祥江 (三重県 28歳) 3:08:08
女子総合優勝 (ハーフマラソン)	古浦 千裕 (沖縄県 18歳) 1:31:07	近藤 美和子 (静岡県 15歳) 1:31:55	青山 典子 (千葉県 38歳) 1:33:39	青山 典子 (千葉県 39歳) 1:33:12	中川 伶子 (東京都 31歳) 1:34:18
リレーマラソン優勝	セントラルきんしちよう (鹿児島県) 2:45:22	与論高校3年生 (与論町) 2:47:37	沖縄国際大学Aチーム (沖縄県) 2:25:40	知覧茶倶楽部 (鹿児島県) 3:15:17	しばしの別れ 2:54:22

	第16回大会	第17回大会	第18回大会	第19回大会	第20回大会
開催日	'07 平成19年3月4日(日)	'08 平成20年3月9日(日)	'09 平成21年3月8日(日)	'10 平成22年3月7日(日)	'11 平成23年3月6日(日)
出走者	1,069人	1,195人	1,290人	1,193人	1,326人
完走者	1,036人 (男659人・女377人)	1,144人 (男531人・女613人)	1,269人 (男760人・女509人)	1,160人 (男585人・女455人・リレー120人)	1,282人 (男707人・女575人)
完走率	96.9%	95.7%	98.3%	97.2%	96.6%
男子総合優勝 (フルマラソン)	中木原 毅尚 (鹿児島県 25歳) 2:46:32	橋本 謙司 (千葉県 24歳) 2:39:42	中木原 毅尚 (鹿児島県 27歳) 2:41:07	熊田 亮介 (千葉県 22歳) 2:44:45	山根 文雄 (大阪府 43歳) 2:39:24
男子総合優勝 (ハーフマラソン)	幸福 恵吾 (鹿児島県 28歳) 1:15:54	中木原 毅尚 (鹿児島県 26歳) 1:18:48	本高 和弘 (鹿児島県 51歳) 1:22:07	小山 強志 (栃木県 38歳) 1:13:57	町田 知宏 (群馬県 22歳) 1:21:38
女子総合優勝 (フルマラソン)	野村 泰子 (兵庫県 41歳) 3:24:58	林田 智美 (東京都 32歳) 3:22:21	中元 美紀 (滋賀県 32歳) 3:19:52	伊藤 夕子 (埼玉県 37歳) 2:58:23	小池 廣子 (愛知県 53歳) 3:31:57
女子総合優勝 (ハーフマラソン)	川 照美 (鹿児島県 43歳) 1:35:18	川 照美 (鹿児島県 44歳) 1:34:35	川 照美 (鹿児島県 45歳) 1:34:22	花岡 洋子 (福岡県 41歳) 1:35:09	渡久知 利佳 (東京都 23歳) 1:28:27
リレーマラソン優勝	チーム和歌 3:13:49	チームV・F・C 3:20:53	与論高校野球部 3:10:03	芝浦工業大学 3:33:23	Team yoroyoro 3:19:05

与論町のあゆみ

1266年（文永3年）

- ・琉球国の英祖王に納貢し、琉球所属となる

1405年（応永12年）－1416年（応永23年）

- ・琉球北山王の三男王舅が与論城を築く
- ・城は北山滅亡のため未完成となる

1525年（大永5年）

- ・又吉按司、与論島主となる

1561年（永禄4年）

- ・十五夜踊り始まる

1609年（慶長14年）

- ・島津の琉球入り、尚寧王降伏

1610年（慶長15年）

- ・薩摩藩の所属となる
- ・直川智、サトウキビを初めて大島の和浜に栽培

1612年（慶長18年）

- ・大島本島に代官を設置

1616年（元和2年）

- ・徳之島に代官を設置
- ・屋口与論主藩主任官となる

1682年（天和2年）

- ・蘇鉄植栽始まる

1690年（元禄3年）

- ・沖永良部島代官、徳之島より分離

1691年（元禄4年）

- ・（人口1,294人）

1719年（享保4年）

- ・琉球王へ贈物

1721年（享保6年）

- ・（人口2,130人）

1778年（安永7年）

- ・痘瘡（天然痘）が大流行し、大飢饉となり多数の死者が出る

1781年（安永10年）

- ・台風が襲来、大飢饉となり、琉球より米を拝借

1799年（寛政11年）

- ・（人口3,357人）

1800年（寛政12年）

- ・琉球国王へ贈物

1808年（文化5年）

- ・唐（中国）船、茶花村大浦へ漂着

1809年（文化6年）

- ・大干ばつのため、翌年まで大飢饉となる

1815年（文化12年）

- ・（人口3,530人）

1819年（文政2年）

- ・沖永良部島にサトウキビの植付け始まる

1824年（文政7年）

- ・金比羅神社を樋口石垣上に建立
- ・（人口4,248人）

1825年（文政8年）

- ・天然痘が流行

1826年（文政9年）

- ・天然痘が流行し、大飢饉となり多数の死者が出る

1829年（文政12年）

- ・大島、砂糖を総買上げ、金銭取り引き始まる

1831年（天保2年）

- ・（人口3,180人）

1835年（天保6年）

- ・金比羅神社を上城へ移す
- ・麻疹（はしか）流行

1838年（天保9年）

- ・（人口3,203人〈男1,617人、女1,586人〉）

1845年（弘化2年）

- ・（人口3,700人〈男1,878人、女1,822人〉）

1851年（嘉永4年）

- ・疫病が流行し、250人が死亡

1852年（嘉永5年）

- ・（人口3,888人〈男1,994人、女1,894人〉）

1869年（明治2年）

- ・高千穂神社を建立

1871年（明治4年）

- ・地主神社を建て氏神をまとめて祭る

1873年（明治6年）

- ・鶴政信氏初代戸長に就任
- ・砂糖の売買が自由になる

1875年（明治8年）

- ・沖永良部支庁の管轄となる
- ・大水間切と東間切に戸長役場を設置
- ・一般の人に名字がつけられる
- ・学問所（ナンカル学校）開校（児童数90人、教師5人）
- ・（人口5,683人）

1877年（明治10年）

- ・西南戦争に2名出兵

1878年（明治11年）

- ・風葬が禁止される
- ・亭野学校（与論小の前身）開校
- ・チフスやコレラが大流行
- ・与論郵便局を城に設置（局長 平直和加氏）

1879年（明治12年）

- ・汽船が初めて入港

与論町のあゆみ

1880年（明治13年）

- ・戸長役場を城にまとめる
- ・上野應介氏戸長に就任（21年間在職）
- ・田畑の検地・登録を実施

1882年（明治15年）

- ・税金が金銭化される

1884年（明治17年）

- ・十五夜踊りが中止される

1886年（明治19年）

- ・天然痘・台風・火災の被害により飢饉

1887年（明治20年）

- ・与論簡易小学校となる

1890年（明治23年）

- ・沖永良部警察署与論駐在所を設置
- ・十五夜踊りが復活

1894年（明治27年）

- ・日清戦争に9名出兵

1897年（明治30年）

- ・簡易小学校を廃止、与論尋常小学校となる

1898年（明治31年）

- ・猛烈な台風が襲来し4年間大飢饉となる

1899年（明治32年）

- ・足戸に巡査駐在所を設置
- ・裁判所出張所を城に設置
- ・長崎県口之津への移住始まる



長崎県口之津町での与論館落成式（平成7年2月）

与論館：明治32年に集団移住して石炭積出し労務に従事し、口之津繁栄の一端を支えてくれた与論の人達が使った当時の住宅（与論長屋）を館内に縮小再現した他、与論との縁を物語る様々な資料を展示し、その絆を永く伝えようと築いた館。

1900年（明治33年）

- ・与論尋常小学校の分校を茶花と那間に開校

1901年（明治34年）

- ・梅山藤里氏戸長に就任

1904年（明治37年）

- ・日露戦争に25名出兵

1905年（明治38年）

- ・戸長役場を城から茶花に移転
- ・時千良氏戸長に就任

1906年（明治39年）

- ・赫助熊氏戸長に就任

1908年（明治41年）

- ・与論村となり村役場を置く
- ・龍田佐隆史氏初代村長に就任
- ・第1回村会議員選挙実施

1909年（明治42年）

- ・菅原神社を琴平神社に合祀する

1911年（明治44年）

- ・茶花・麦屋（西区）間に道路開通
- ・大野好文氏県会議員に当選

1912年（大正元年）

- ・龍宮辰次郎氏村長に就任

1914年（大正3年）

- ・第1次世界大戦に10名出兵

1915年（大正4年）

- ・龍中興氏村長に就任

1916年（大正5年）

- ・与論島一周道路が開通
- ・皆吉平安禎氏村長に就任

1917年（大正6年）

- ・麦屋と立長から分立して城字ができる

1918年（大正7年）

- ・山下平志氏村長に就任

1919年（大正8年）

- ・麦屋から西区と東区に分かれる
- ・茶花尋常小学校と那間尋常小学校が独立

1920年（大正9年）

- ・足戸・古里・那間から分立して叶字ができる
- ・（第1回国勢調査による人口7,916人）

1922年（大正11年）

- ・電報が打てるようになる

1924年（大正13年）

- ・山喜見政氏村長に就任

1925年（大正14年）

- ・（国勢調査による口7,661人）

1926年（大正15年）

- ・村立青年訓練所与論小内に開設

1927年（昭和2年）

- ・鉛筆・ノートが使われ始める

1930年（昭和5年）

- ・（国勢調査による人口8,227人）

与論町のあゆみ

1931年（昭和6年）

- ・動力製糖工場（昭和工場）や精米所ができる
- ・脱穀機が初めて使われる
- ・満州事変に横山治興氏などが出兵

1933年（昭和8年）

- ・茶花に消防団を結成
- ・黒田正孝氏村長に就任

1935年（昭和10年）

- ・青年訓練所を廃し青年学校を開設
- ・（国勢調査による人口8,630人）

1936年（昭和11年）

- ・村営汽船与論丸が与論・沖縄間に就航

1937年（昭和12年）

- ・田中上安氏村長に就任
- ・村立青年学校が独立
- ・大金久に防砂林を植樹

1939年（昭和14年）

- ・青年学校も義務制となる
- ・初めて自動車が走る（東亜燐鉱株式会社）

1940年（昭和15年）

- ・（国勢調査による人口7,889人）

1941年（昭和16年）

- ・尋常小学校を国民学校に改称
- ・黒田正孝氏村長に再就任
- ・村立青年学校が現在の与論中に完成
- ・太平洋戦争始まる

1943年（昭和18年）

- ・満州移民開拓団先遣隊出発（団長・伊東佐江吉氏）
- ・足戸に郵便局を開設

1944年（昭和19年）

- ・満州移民開拓団第1陣出発
- ・金井清実氏村長に就任
- ・初空襲を受け与論丸沈没

1945年（昭和20年）

- ・3月23日から3日間の空襲を受け、茶花商店街や茶花校焼ける 同23日那間校、26日与論校や青年学校焼ける 4月4日琴平神社焼ける（全島で約370世帯が焼ける）8月15日終戦、10月に米軍初来島
- ・9月1日、3小学校入学式を挙行
- ・（人口7,913人）

1946年（昭和21年）

- ・アメリカ合衆国統治下に置かれ、日本と分離（2月2日）、帰国した満州移民団肝属郡田代町に再移住

1947年（昭和22年）

- ・青年学校を廃止し、村立実業高校を開校
- ・相撲・柔道協会を設立（会長 坂元原澄氏）
- ・酒工場（有村酒造）できる
- ・与論村漁業会設立（会長 坂元原澄氏）

1948年（昭和23年）

- ・山本喜久政氏村長に就任
- ・学制改革により、国民学校を小学校と改称

- ・与論中学校開校

1949年（昭和24年）

- ・与論村立与論実業高等学校廃校

1950年（昭和25年）

- ・農協に自動車が入る（戦後初）
- ・（人口8,141人）

1951年（昭和26年）

- ・与論（茶花に150灯）に初めて電灯がともされる（南発電所）

1952年（昭和27年）

- ・龍野通雄氏村長に就任

1953年（昭和28年）

- ・奄美群島が日本に復帰（12月25日）



奄美本土復帰を祝う児童生徒たち

1954年（昭和29年）

- ・足戸を朝戸に改称
- ・与論中学校に鉄筋校舎が完成
- ・与論小学校にPTAによる付属幼稚園を開設
- ・小祝幸一氏、小笠原からカボチャの種子を持ち込み栽培を始める
- ・与論村漁協協同組合と改称

1955年（昭和30年）

- ・診療所を開設
- ・山下平志氏村長に再就任
- ・（国勢調査による人口7,851人）

1956年（昭和31年）

- ・与論小学校に鉄筋校舎が完成

1957年（昭和32年）

- ・村営発電所できる
- ・那間小学校に鉄筋校舎が完成

1958年（昭和33年）

- ・茶花小学校に鉄筋校舎が完成
- ・電話が開通
- ・テレビが見られるようになる
- ・あけぼの丸が就航
- ・奄美大島信用金庫与論支店開設

1959年（昭和34年）

- ・久留富森氏村長に就任

1960年（昭和35年）

- ・タクシーが走るようになる（南タクシー）

与論町のあゆみ

- ・(国勢調査による人口 7,792 人)

1961 年 (昭和 36 年)

- ・プロパンガスの使用始まる (吉田プロパン)

1962 年 (昭和 37 年)

- ・バスが走るようになる (南陸運)
- ・大型製糖工場ができる
- ・兼母灯台ができる
- ・一周道路が県道になる

1963 年 (昭和 38 年)

- ・1 月 1 日、町制施行「与論町」となる
- ・龍野通雄氏町長に就任
- ・南島開発 K.K. 与論工場操業開始
- ・江が島栈橋竣工
- ・大千ばつ続く
- ・小中学校で学校給食始まる
- ・町体協ができ、第 1 回町民体育大会開催

1964 年 (昭和 39 年)

- ・茶花・立長に町で初めての簡易水道施設ができる

1965 年 (昭和 40 年)

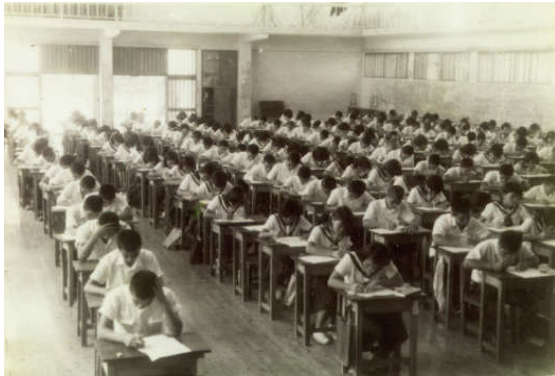
- ・与論中学校に 2 階校舎と体育館完成
- ・照国丸が就航
- ・麦屋地区簡易水道施設ができる
- ・観光協会創設
- ・(国勢調査による人口 7,181 人)

1966 年 (昭和 41 年)

- ・県道の舗装工事始まる
- ・町章を制定
- ・与論町商工会ができる

1967 年 (昭和 42 年)

- ・大島高等学校与論分校開校 (中学校内)
- ・役場新庁舎落成
- ・三州高等経理学校開校
- ・農業構造改善事業開始
- ・町民 440 人、東京見学 (波の上丸)
- ・龍野通雄氏町長に就任 (2 期目)



与論中学校体育館で行われた大島高等学校与論分校
第一回入学試験

1968 年 (昭和 43 年)

- ・茶花小体育館が完成
- ・大島高等学校与論分校現在地へ移転
- ・麦屋へき地出張診療所開設
- ・あまみ丸就航
- ・消防ポンプ自動車購入

1969 年 (昭和 44 年)

- ・農村振興センター (現中央公民館) 完成
- ・田代町と姉妹盟約を結ぶ
- ・那間簡易郵便局開設
- ・那間へき地診療所開設
- ・大島高等学校与論分校に本校舎が完成

1970 年 (昭和 45 年)

- ・ミカンコミバエ航空防除
- ・琴平神社の大鳥居が完成
- ・町営電気事業大島電力へ合併
- ・ハイビスカス丸就航
- ・大島紬織工養成所落成
- ・那間簡易水道施設ができる
- ・朝戸保育所が落成
- ・(国勢調査による人口 7,096 人)

1971 年 (昭和 46 年)

- ・県立与論高等学校が独立
- ・赤崎灯台できる
- ・各小学校に町立幼稚園を併設
- ・十五夜踊り、県の無形民俗文化財に指定
- ・那間小学校に体育館が完成
- ・龍野通雄氏町長に就任 (3 期目)

1972 年 (昭和 47 年)

- ・地域集団電話が開設
- ・喜山盛治氏、藍綬褒章を受章
- ・ごみ焼却炉ができる
- ・ひかり丸、クイーンコーラル就航
- ・太陽国体採火式と炬火リレー挙行
- ・与論高校に体育館が完成
- ・与論空港測量開始
- ・麦屋へき地保健福祉館落成
- ・沖縄が祖国復帰
- ・与論高校学級増 (3 学級)

1973 年 (昭和 48 年)

- ・町制施行 10 周年記念式典を挙行
- ・大島電力、九州電力へ合併
- ・与論空港工事始まる
- ・与論小体育館完成
- ・国民宿舎海中公園センター「ヨロン」完成
- ・与論島総合学術調査実施
- ・大島地区総合社会教育研究会開催
- ・与論町名誉町民に有村治峯氏と西田当元氏を推戴
- ・キビ価格引き上げ決起大会に 76 名上京

1974 年 (昭和 49 年)

- ・徳永運輸大臣来島
- ・与論島国定公園指定
- ・県道舗装完了
- ・町田原長氏、勲 6 等単光旭日章を受章
- ・与論高校に武道館が完成
- ・サトウキビ価格 1 トン当たり 15,000 円となる

1975 年 (昭和 50 年)

- ・学校給食センターが完成
- ・坂元澄氏町長に就任
- ・エメラルドあまみ・クイーンコーラルⅡ就航
- ・与論小創立 100 周年記念式典を挙行
- ・大内森業氏、勲 5 等瑞宝章を受章
- ・(国勢調査による人口 6,971 人)

与論町のあゆみ

1976年（昭和51年）

- ・与論空港が開港
- ・木村運輸大臣、金丸県知事、屋良沖縄県知事が来島
- ・台風17号で大被害を受ける（災害救助法適用）
- ・特別養護老人ホーム「ヨロン園」完成
- ・与論高校創立10周年記念式典を挙げる
- ・郡内市町村議員大会開催
- ・大島地区老人スポーツ大会開催
- ・龍野通雄氏、大原里奥氏、勲5等瑞宝章を受章



与論空港開港

1977年（昭和52年）

- ・航空郵便始まる
- ・台風9号で大被害を受ける（災害救助法適用）
- ・あけぼの丸就航
- ・東亜国内航空鹿児島直行便が開通
- ・サトウキビ価格1トン当たり18,000円となる
- ・全国ダイヤル即時通話が開通
- ・鹿児島与論会50周年記念式典を挙げる



製糖終了祝い

1978年（昭和53年）

- ・与論中学校創立30周年記念式典を挙げる
- ・立長へき地保健福祉館が完成
- ・茶花小学校特別教室（3階建て）完成
- ・県民体育大会奄美大島地区大会を与論で開催
- ・那覇、与論間空路開設実現（南西航空）
- ・与論郵便局創立100周年記念式典を挙げる
- ・青年会館完成
- ・町旗・町民歌制定
- ・百合ヶ浜周辺海浜地を町一括管理
- ・竹内得吉氏、勲5等双光旭日章を受章
- ・満州開拓団犠牲者の慰霊碑建立
- ・東区青少年センター完成

1979年（昭和54年）

- ・与論校区農村基盤総合整備事業始まる
- ・新しい診療所がオープン

- ・防災無線を設置
- ・医師住宅を建設
- ・茶花保育所を開設
- ・与論民間放送中継局の建設
- ・与論港初接岸（供利）
- ・与論町で車座対談開催（鎌田要人県知事来島）
- ・与論町交通安全協会が発足
- ・山市郎氏町長に就任
- ・名誉町民に山下平志氏、龍野通雄氏を推戴
- ・川畑森城氏、勲5等瑞宝章を受章
- ・南西航空日発運航
- ・南西航空沖永良部就航（月・水・金）
- ・那間へき地保健福祉館落成



大型フェリーの与論港初接岸（供利）を祝う式典

1980年（昭和55年）

- ・茶花地区公民館完成
- ・朝戸児童館が完成
- ・東十条小学校（東京）と与論町3小学校姉妹校盟約協定
- ・茶花小、与論小に夜間照明施設設置
- ・古里青少年センターが完成
- ・交通信号機を設置（農協前）
- ・波之上丸が就航
- ・（国勢調査による人口7,320人）

1981年（昭和56年）

- ・叶生活館が完成
- ・那間小附属幼稚園舎が完成
- ・那間小、与論中に夜間照明施設設置
- ・山下平志氏、勲6等瑞宝章を受章
- ・喜山盛治氏、勲5等瑞宝章を受章
- ・地籍調査を完了
- ・「第2次与論町振興計画基本構想」策定
- ・名誉町民に伊藤佐江吉氏を推戴
- ・役場3階増築

1982年（昭和57年）

- ・伝染病棟が完成
- ・城青少年センターが完成
- ・与論高校に小体育館が完成
- ・ニュークイーンコーラルが就航
- ・与論中に特別教室が完成（LL教室・図書室など）
- ・浄水場が完成
- ・岩山新二氏、勲5等瑞宝章を受章
- ・大島地区社会福祉大会開催
- ・谷山慶介氏郡町村議会議長に就任
- ・南三島老人スポーツ大会開催
- ・農協選果場完成
- ・サトウキビ価格1トン当たり21,450円となる

与論町のあゆみ

1983年（昭和58年）

- ・防災センター完成
- ・ヨロンパナウル王国を建国する
- ・新しいゴミ焼却炉施設が完成
- ・町制施行20周年記念式典を挙（町民憲章・町花・町木・町民音頭を制定）
- ・川畑浩一氏町長に就任
- ・沖永良部与論地区消防組合与論分遣所が完成
- ・茶花生活館が完成
- ・サトウキビ価格1トン当たり21,470円となる
- ・ドルニエ機（日本エアコミューター）が奄美大島・与論間に就航



ヨロンパナウル王国建国パレード

1984年（昭和59年）

- ・消防自動車（10トンタンク車）購入
- ・町立図書館が完成
- ・総合運動場が完成
- ・自治公民館制度が発足
- ・大島支部消防操法大会開催
- ・ギリシャ国ミコノス市と姉妹盟約締結（川畑浩一町長以下26人がミコノス島を親善訪問）



ミコノス島を親善訪問

1985年（昭和60年）

- ・ミコノス市・与論町姉妹盟約締結記念式典を挙（ギリシャ国駐日大使コンスタンティノス・ディベロプロス氏来島）
- ・茶花小・那間小学校創立85周年記念式典を挙
- ・町内全小組合長研修会を初めて開催
- ・ドルニエ機（日本エアコミューター）が徳之島・与論間に就航
- ・プリシアリゾートヨロン
- ・（国勢調査による人口7,222人）

1986年（昭和61年）

- ・与論中学校の新体育館完成
- ・那間保育所が完成

- ・製糖史上最高の64,859トンを生産
- ・定期船「ありあけ」が就航
- ・総合運動場に夜間照明施設を設置
- ・定期船「クイーン・コーラル7」が就航
- ・与論高等学校創立20周年記念式典挙
- ・第32回奄美地区総合社会教育研究大会を開催
- ・上野應介翁頌徳碑を建立

1987年（昭和62年）

- ・多目的運動広場（テニスコート）が完成
- ・特別養護老人ホーム「ヨロン園」創立10周年記念祝典を挙
- ・鎌田要人県知事が来島し車座対談開催
- ・第41回県民体育大会第28回大島地区大会を開催
- ・福富雄氏町長に就任
- ・川畑茂氏、勲5等双光旭日章を受章

1988年（昭和63年）

- ・川畑芽出雄氏、藍綬褒章を受章
- ・市内局番1桁から2桁となる
- ・益田元甫氏、勲4等瑞宝章を受章
- ・与論中学校新校舎が完成（普通教室・多目的教室・給食コンテナ室など）
- ・農業集落排水施設工事着工
- ・与論町誌発刊

1989年（平成元年）

- ・防災無線施設（戸別受信機）整備
- ・与論高校テニス部全国大会初出場
- ・与論幹部派出所移転新築落成
- ・戸別受信機による定時放送（広報サービス）開始
- ・与論・田代姉妹町盟約20周年記念行事開催
- ・与論港（茶花地区）完成開港
- ・フェリーあけぼの（新造船）就航
- ・那間小全日本健康優良学校表彰受賞（4度目）
- ・谷山慶介氏、勲5等双光旭日章を受章
- ・栽原富吉氏、勲6等単光旭日章を受章

1990年（平成2年）

- ・那間小プール完成
- ・全郡議会議員大会開催
- ・肉用牛飼養頭数2,000頭突破
- ・（国勢調査による人口6,704人）

1991年（平成3年）

- ・保健センター完成
- ・琴龍橋・翔龍橋開通
- ・平田敏秀氏町長に就任
- ・有村泰治氏、勲6等単光旭日章を受章
- ・第3次与論町総合振興計画策定

1992年（平成4年）

- ・第1回ヨロンマラソン開催
- ・B&G海洋センター（プール・艇庫）オープン
- ・プロ野球元ロッセオリオンズの投手村田兆治氏来島講演
- ・ヨットウーマン今給黎教子氏来島講演
- ・元気通りを宣言（朝戸集落）
- ・ゆんぬ青年エイサー結成
- ・第1回ダイビングフェスティバル開催

1993年（平成5年）

- ・旧巡視船「あまみ」品覇海岸沖に沈める

与論町のあゆみ

- ・サザンクロスセンターオープン
- ・水産物加工施設完成
- ・総合育苗センター完成
- ・第1回元気七夕祭開催（朝戸集落）
- ・砂美地来館完成
- ・県民体育大会サッカー大島地区与論大会で与論優勝
- ・町制施行30周年記念式典を挙げる
- ・クイーンコーラル（新造船）就航
- ・与論十五夜踊り、国の重要無形民族文化財に指定
- ・肉用牛総飼養頭数3,000頭突破
- ・山下勇夫氏、勲5等双光旭日章を受章
- ・竹下茂徳氏、勲5等瑞宝章を受章
- ・永野平治氏、勲5等瑞宝章を受章

1994年（平成6年）

- ・移動図書館車巡回始まる
- ・与論高校弓道場完成
- ・若松光茂氏、勲5等瑞宝章を受章
- ・石川サトイモ集出荷施設完成
- ・与論町老人保健福祉計画策定
- ・フェリーなみのうえ（新造船）就航
- ・竹村福裁氏、勲6等瑞宝章を受章
- ・中央通り会・銀座通り会発足

1995年（平成7年）

- ・サトウキビ品質取引始まる
- ・与論救難所発足
- ・松山俊一氏、勲7等瑞宝章を受章
- ・与論町緑化基本計画策定
- ・B&G与論海洋センター（プール・艇庫）無償譲渡される
- ・平田敏秀氏町長に就任（2期目）
- ・サブ機（日本エアコミューター）が奄美・与論間に就航
- ・ありあけ（新造船）就航（与論は不定期）
- ・与論郵便局新築移転
- ・与論小学校創立120周年記念式典を挙げる
- ・町連合青年団結成50周年記念式典挙げる
- ・土壌診断センター完成
- ・赤左地区農業集落排水施設供用開始
- ・（国勢調査による人口6,210人）

1996年（平成8年）

- ・与論徳州会病院オープン
- ・地域福祉センターオープン
- ・川畑芽出雄氏、勲5等双光旭日章を受章
- ・野口スミエ氏勲7等宝冠章を受章
- ・町商工会設立30周年記念式典を挙げる
- ・クルーズフェリー飛龍与論航路に就航
- ・与論2世本博国（ボクシング）アトランタオリンピック出場
- ・コースタルリゾート整備事業始まる
- ・与論高校創立30周年記念式典を挙げる

1997年（平成9年）

- ・与論-沖縄路線、日本トランスオーシャン航空から琉球エアコミューターへ移管される
- ・ギリシャ村開村（代表 阿由葉辰夫氏）
- ・結団多目的広場（ソフトボール場）完成
- ・さとうきび生産振興島ぐるみ総決起大会開催
- ・与論十五夜踊り保存館（1,2番組）完成
- ・多目的屋内運動場完成
- ・アイランドフォーラムが開催される

- ・与論中学校創立50周年記念式典を挙げる

1998年（平成10年）

- ・指定金融機関業務開始（与論町農協）
- ・名誉町民有村治峯氏白寿祝賀会開催
- ・南大島農業共済事業合併（徳之島、沖永良部、与論）与論支所開設（本部伊仙町）
- ・全国与論会創立30周年記念式典を挙げる
- ・与論郵便局開局120周年記念式典を挙げる

1999年（平成11年）

- ・山市郎氏、勲5等瑞宝章を受章
- ・国の緊急経済対策で「地域振興券」を交付
- ・役場電算システム（総合行政システム）導入
- ・喜村政森氏、勲6等瑞宝章を受章
- ・クイーンコーラル8初就航
- ・南政吾氏町長に就任
- ・与論町・ギリシャ国ミコノス市姉妹盟約15周年記念式典を挙げる

2000年（平成12年）

- ・与論中学校と与論高校を文部科学省指定の研究開発実践校として連携型中高一貫教育校として指定
- ・介護保険制度始まる
- ・大角龍矢氏、勲6等単光旭日章を受章
- ・金井清蔵氏、勲6等単光旭日章を受章
- ・阿多繁氏、勲6等瑞宝章を受章
- ・保岡興治代議士、法務大臣に就任
- ・名誉町民・有村治峯氏死去（享年100歳）
- ・茶花小学校創立100周年記念式典を挙げる
- ・那間小学校創立100周年記念式典を挙げる
- ・（国勢調査による人口6,099人）

2001年（平成13年）

- ・ギリシャ・ミコノス市訪問団来島
- ・ヨロンマラソン第10回記念大会開催
- ・与論町地域新エネルギービジョン策定
- ・役場に財務会計システム導入
- ・淡水化施設供用開始
- ・第4次与論町総合振興計画策定
- ・図書館の電算化及び町の公共施設を無線LANで結ぶ
- ・与論町地域婦人会連絡協議会結成50周年記念式典を挙げる（平成14年4月から名称を「与論町地域女性団体連絡協議会」と改める）
- ・ホームページ開設

2002年（平成14年）

- ・与論町和牛改良組合が農林水産大臣賞を受賞
- ・町営「増木名住宅」が那間地区に完成
- ・「バナウル王国の環境憲法」を策定
- ・町立診療所休診
- ・役場窓口に「総合窓口」を設置
- ・学校週5日制スタート
- ・リサイクルセンター稼働
- ・沖縄復帰30周年記念交流事業開催
- ・住民基本台帳ネットワークシステム稼働
- ・県内で初めて「カンキツグリーンング病」を確認
- ・名誉町民に益田元甫氏を推戴
- ・国の狂牛病緊急対策の一環として、すべての牛に11桁の番号がふられる「個体識別システム」を整備
- ・川田作福氏、勲6等瑞宝章を受章

2003年（平成15年）

与論町のあゆみ

- ・品覇海岸沖に海中宮殿が完成
- ・県内離島初、インターネット高速回線ADSLが島内全域で開通
- ・火葬場「昇龍苑」が完成
- ・南政吾氏町長に就任（2期目）
- ・与論町収入役の事務を助役が兼掌
- ・町制施行40周年・パナウル王国建国20周年・奄美群島日本復帰50周年記念式典を挙げる
- ・「与論町の合併についての意思を問う住民投票」が行われ、合併反対票が8割を占める
- ・沖永良部・与論地域合併協議会を離脱
- ・南仁義氏、勲5等瑞宝章を受章



火葬場「昇龍苑」

2004年（平成16年）

- ・漁協に新製氷施設が完成
- ・第36回大島支部消防操法大会開催
- ・町議会議員定数12人となる
- ・与論町自立化戦略会議が自立化計画を提言
- ・サトウキビ生産量が過去最低の26,430トンとなる
- ・荣誉町民に池田政敏氏を推戴

2005年（平成17年）

- ・肉用牛販売額（平成16年度実績）が初めて10億円を突破
- ・茶花小プールが完成
- ・有村悦弘氏、瑞宝単光章を受章
- ・消防自動車（10トン水槽車）を購入
- ・新麦屋配水池（200m³）が完成
- ・YS11型機に替わりQ400型機（日本エアコミューター）が鹿児島・与論間に就航
- ・茶花小新体育館が完成
- ・町本按司雄氏、旭日単光章を受章
- ・堆肥センターが完成
- ・与論小学校創立130周年記念式典開催
- ・宇和寺住宅団地竣工
- ・有限会社エスユー 与論工場開設
- ・（国勢調査による人口5,731人）

2006年（平成18年）

- ・旧町立診療所を鹿児島大学与論活性化センターとして活用
- ・口之津町（現南島原市）と姉妹町協定を結ぶ
- ・錦江町（旧田代町・大根占町）と姉妹盟約を結ぶ
- ・地域提案型雇用創造促進事業導入
- ・知事と語る会開催（伊藤知事来島）
- ・野澤マゴさん（110歳）鹿児島県の最高齢者となる
- ・ストックヤードが完成
- ・与論高校創立40周年記念式典開催
- ・与論中学校野球部 県秋季大会で優勝
- ・新防災行政無線基地局及び屋外拡声器を整備

2007年（平成19年）

- ・与論港コースターリゾート完成式典開催
- ・パスポート申請・交付業務開始
- ・与論町地域包括支援センター開設
- ・「与論町ヨロン島サンゴ礁条例」制定
- ・Q300型機（琉球エアコミューター）が与論・那覇間に就航
- ・宇和寺住宅団地2棟目完成
- ・町田末吉氏大島郡議会議長会会長に就任
- ・町田末吉氏鹿児島県離島振興市町村議会議長会会長に就任
- ・与論中学校創立60周年記念式典開催
- ・株式会社LINKS（リンクス）与論島支社開設
- ・日本マルコ株式会社与論工場立地協定調印式
- ・南政吾氏町長に就任（3期目）



日本マルコ株式会社立地協定調印式

2008年（平成20年）

- ・与論小学校新校舎完成
- ・震度5弱の地震
- ・ノーマイカーデーの実施（毎週金曜日）
- ・ライブカメラの稼働
- ・「クイーンコーラルプラス」及び「あけぼの丸」新造船就航
- ・龍園福秀氏、「瑞宝双光章」「正六位」（死亡叙位）を受章
- ・山下勇夫氏、「瑞宝双光章」「従六位」（死亡叙位）を受章
- ・田畑宮郷氏、「瑞宝双光章」「従六位」（死亡叙位）を受章
- ・染川繁夫氏、「瑞宝双光章」を受章
- ・竹田福重氏、「旭日双光章」を受章



与論小学校新校舎完成

2009年（平成21年）

- ・ヨロン特産品支援センター開設
- ・町田末吉氏鹿児島県町村議会議長会会長に就任
- ・宇和寺団地（3号棟）完成

与論町のあゆみ

- ・ホームページ開設（リニューアル）
- ・佐藤持久氏・故山下為吉氏与論町民栄誉賞を受賞
- ・光ファイバ開通



光ファイバ開通記念式典

2010年（平成22年）

- ・竹田福重氏、「正六位」（死亡叙位）を受章
- ・西村政達氏、「旭日単光章」（死亡叙位）を受章
- ・永野展秀氏、「瑞宝双光章」を受章
- ・教育スクウェア×ICT計画策定
- ・過疎計画策定
- ・空港ターミナルビル拡張工事完了
- ・役場南庁舎別館工事完了
- ・（国勢調査による人口5,327人）

2011年（平成23年）

- ・ヨロンマラソン第20回記念大会開催
- ・宇和寺住宅4号棟完成
- ・西金澄氏、「旭日単光章」を受章
- ・林壽雄氏、「旭日双光章」を受章
- ・第5次与論町総合振興計画策定
- ・ゆんぬ体験館完成
- ・ゆんぬ敷料化ラブセンター完成
- ・知事と語り会開催（伊藤知事来島）
- ・南政吾氏町長に就任（4期目）
- ・与論十五夜踊450周年祭開催
- ・池田一彌氏「鹿児島県発明協会会長賞」受賞

（平成23年12月31日現在）



ヨロンマラソン第20回記念大会



宇和寺住宅4号棟完成



ゆんぬ体験館落成式



ゆんぬ敷料化ラブセンター落成式



与論十五夜踊450周年祭開催

町内主要施設等一覧

名 称	所在地	電話番号	名 称	所在地	電話番号
与論町役場	茶花32-1	97-3111	東区青少年センター（東区自治公民館）	麦屋1687	97-2733
与論町教育委員会	茶花32-1	97-2441	古里青少年センター（古里自治公民館）	古里1403	97-2828
水道課	茶花33-1	97-4994	麦屋へき地保健福祉館（西区自治公民館）	麦屋1904	97-3141
環境課	茶花33-1	97-4712	那間へき地保健福祉館（那間自治公民館）	那間3347	97-5058
与論町中央公民館	茶花1013-4	97-2079	叶生活館（叶自治公民館）	朝戸396-2	97-5050
与論町立図書館	茶花257-1	97-4910	沖永良部警察署与論幹部派出所	茶花2029-1	97-2803
与論町給食センター	茶花1400	97-4438	鹿児島県合同庁舎	茶花1420	97-2274
与論町清掃センター	茶花2040-1	97-4528	沖永良部福祉事務所与論駐在	〃	97-2274
リサイクルセンター	立長684	97-5575	徳之島家畜保健衛生所与論出張所	〃	97-2033
昇龍苑（火葬場）	立長3173-1	97-4661	沖永良部農業改良普及所与論駐在	〃	97-4460
与論町総合運動場	茶花2030	97-4939	与論郵便局	茶花68-6	97-2042
砂美地来館（町総合体育館）	茶花2045	97-5001	朝戸郵便局	朝戸1575	97-2016
与論町地域福祉センター	茶花2643-3	97-4802	那間簡易郵便局	那間3419-1	97-2931
B&G海洋センター（プール）	茶花2045	97-5023	あまみ農業協同組合	茶花64	97-3121
〃（艇庫）	茶花2466-1	97-5033	与論町農畜産物流通センター	茶花1135	97-4506
サザンクロスセンター	立長3313	97-3396	与論町漁業協同組合	茶花241	97-2221
保健センター	茶花1491	97-5105	与論町商工会	茶花1444	97-2113
鹿児島大学与論活性化センター	茶花1418	97-5233	ヨロン島観光協会	茶花32-1	97-5151
赤佐地区農業集落排水処理施設	茶花2	97-2741	与論町社会福祉協議会	茶花2643-3	97-5042
土壌診断センター	茶花1157-5	97-3596	与論中央クリニック	茶花2179	97-2179
ヨロン特産品支援センター	〃	97-3596	龍美クリニック	麦屋1305-5	97-5607
堆肥センター	茶花872-1	81-3443	介護老人保健施設「風花苑」	麦屋1305-5	97-5011
与論町浄水場（淡水化施設）	古里1208	97-2165	与論徳洲会病院	茶花403-1	97-2511
与論空港管理事務所	立長571	97-3465	社会福祉法人 愛心会 障害者施設「秀和苑」	立長3069-5	97-4680
与論港旅客待合管理事務所	立長704	97-4527	パナウル診療所	那間2747-1	97-2073
沖永良部与論地区広域事務組合与論分遣所	茶花1190	97-0119	児玉歯科医院	茶花16-9	97-4359
介護保険事務局	〃	97-3905	サダム歯科医院	茶花1613	97-5088
包括支援センター	茶花1484	81-3072	日本トランスオーシャン航空	茶花65-1	97-2049
茶花こども園	茶花298	97-2737	日本エアコミュータ（株）	茶花65-1	97-2476
与論こども園	朝戸1445	97-2195	（有）有村運送店	立長42-3	97-3251
那間こども園	那間3348-1	97-4668	（株）龍野運送店	茶花235	97-3151
ゆんぬ子育て支援センター ハレルヤこども園	茶花2002	97-4285	南陸運（株）	茶花293	97-3331
町立茶花小学校	茶花298	97-2031	大洋タクシー	茶花71	97-2161
町立与論小学校	朝戸1445	97-2241	九州電力（株）与論委託営業店	茶花265-2	97-2801
町立那間小学校	那間286	97-2278	与論島製糖（株）与論事業所	茶花6-14	97-3131
町立与論中学校	朝戸1134	97-2277	奄美大島信用金庫与論支店	茶花37-6	97-3181
県立与論高等学校	茶花1234	97-2064	（有）エスユー与論工場	茶花1015	81-3440
茶花生活館（茶花自治公民館）	茶花2325-3	97-4747	日本マルコ株式会社与論工場	茶花1796-1	97-4888
立長へき地保健福祉館（立長自治公民館）	立長2341	97-3117	株式会社L I N K S（リンクス）与論支社	茶花997-3	81-3178
城青少年センター（城自治公民館）	麦屋3405	97-4723	株式会社ロボテック	那間221-1	97-0010
朝戸児童館（朝戸自治公民館）	朝戸1772	97-4735			

あ　と　が　き

この要覧は、与論町の概要をご理解いただけるように、必要な資料をできるだけ多く収集し掲載しました。しかしながら、内容や体裁などに、まだ不備な点が多いかと思えます。皆様の率直なご意見をいただければ幸いです。

与論町町勢要覧の編集・発行に際し、ご協力くださいました関係機関の皆様方に心から感謝の意を表しますとともに、今後とも一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。

平成 23 年 12 月



与論町役場 総務企画課

〒891-9301 鹿児島県大島郡与論町茶花 32-1

TEL : 0997-97-3111 FAX : 0997-97-4197

E-mail : kikaku@yoron.jp

U R L : <http://www.yoron.jp/>